

謹賀新年

組合員の皆様、明けましておめでとーございます。年末繁忙大変お疲れ様でした。

今年が、皆さんにとって良い一年あつて欲しいと思います。昨年一年間は、私達にとっては大変な年でありました。小泉総理の郵政民営化方針に対して、JPUと全郵政が共同して労組政策協議会を立ち上げ、郵便局ファンの会、全国特

定郵便局長会と三者の力を一つにして、民営化反対の行動を総力を挙げて展開し、一度は政府の法案を参議院で否決するといふ大きな力を示す事が出来ました。

しかし、総理の極めて強引な解散総選挙により、自民党は歴史的な圧勝をして、郵政民営化法案は再上程された国会で可決、成立してしまいました。自民党の圧勝は様々な問題を含んで、これからの日本のあり

方に影響を与えることになると思います。

私達JPUは最大限の力を發揮して闘いを取り組んできました。新東京支部も、本部、地本の指導を受け、皆さんの協力を得ながら様々な活動に参加してきました。組合員の皆さんに心から御礼を申し上げます。

今年、私達JPUは二月に臨時全国大会を開催し、民営化反対の中間総括と、これからの活動のあり方について全国的な意思統一を行います。特に、職員の雇用、帰属について大きな方向性を六月の定期全国大会で確認させる交渉展開を行うこととされています。

臨時大会か定期大会に向けて組合員の皆さんと意見交換、話し合いをしながら、これからの支部活動を行って行きます。昨年、私達は、民営化反対の

取り組みと同等のものとして、未加入の人達と、非常勤の皆さんへのJPU結集を呼びかけしてきました。

一月から十二月までの間に、職員・非常勤を併せて全分会で拡大、加入をしていただき、トータルで百二十名に迫る数の人達が新しくJPUの仲間になりました。

今年も、まさに自分たちの雇用を守り確定し、継承させるためにも、是非、私達JPUと一緒に活動して欲しいと考えて、積極的に加入の呼びかけを行います。

組合員の皆さんにも是非、周囲の未加入の人、非常勤の人に声をかけて欲しいと思います。

昨年は、正念場の一年として活動を展開してきました。

しかし、民営化に向けて今年

も正念場の一年になります。今年一年執行部は先頭になつて活動を展開します。

組合員の皆さんの一層の御理解とご協力をお願いして新年の挨拶とします。

(支部長 秋山 巖)



新春支部ボーリング大会のお知らせ

(日時)

二〇〇六年

一月二十九日(日)

午後一時から

(場所)

錦糸町ロッテボウル

※終了後表彰式&懇親会を行います

申し込みは各執行委員、分会役員まで

日
刊

新東京

NO 3974

2006年1月11日(水)

日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会

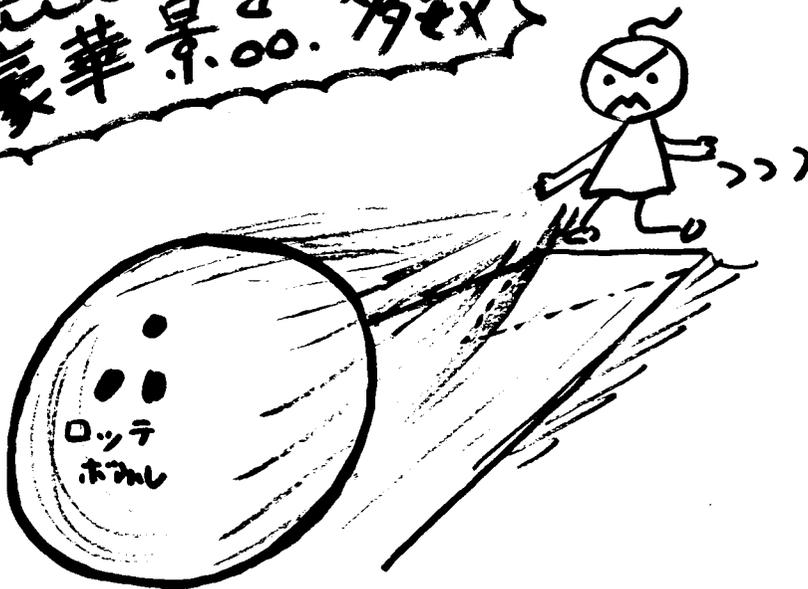
03-5690-2847

内線 4163

2006年 JPU新東京支部 主催!

新春ホウリング大会!

豪華景品多数



[日時] 1月29日(日) 13:30集合!

[場所] 錦糸町「ロツテホリング」7F

[参加費] 2,000円。(ホウリング、くつ、懇親会費

◎詳しくは、支部、分会役員におたずね!(込み)

なまぬるいぞ!

『男たちの』

YAMATO』

昨年の暮れから大日本帝国海

軍の戦艦大和に乗艦した軍人たちの模様を描いた映画『男たちのYAMATO』が公開されている。元角川書店社長の角川春樹氏が映画制作に復帰した記念作だけに宣伝にも力が入っていて、おかげで興行成績も良好だ。私も戦艦大和には少なからず思い入れがあるので見に行った。

生ぬるい映画だった。

どう生ぬるいかというと、戦闘シーンや俳優の演技以前に時代背景の描き方にヌルさを感じ

た。最近台頭している自由主義史観の影響もあるのだろうが、特攻に行く事への重大さを製作者がよく判っていないか、或いは故意に触れずに「愛する人を守るために出撃する」と言っているように見えた。

確かに、実際特攻に行った兵士たちは、父母や妻子や恋人を守る為と思って特攻した事だろう。だが、その純粋な気持ちがあるからといって太平洋戦争を正当化できるかと言えば、違う。戦艦大和が参戦した太平洋戦争は、日本が滅亡する寸前まで行った戦争だ。大都市や沖縄や広島長崎が焦土になる前に、軍部や政治家が連合国に降伏して国民国土を守らず、逆に愛国心を悪用して航空機神風特攻や本土

決戦一億総特攻などと国民を煽った戦争なのだ。口先だけの「愛と平和」を語るには、なお重い戦争なのに、ただのお涙頂戴物語にしたのには呆れた。

六十年も戦争を体験していない現在の日本では、制作サイドも観客も太平洋戦争をチャンネル時代劇と同じような感覚で「当時の衣装を使った現代劇」並に捉えているのだろう。この戦争の時代背景をよく知らない若者や女性は感動して涙を流していたが、中高年の男性達は醒めた調子で「(長嶋)一茂が一番オイシイ役もらったよな(※)」などと語り合っていたのが印象に残った映画だった。

【おた猫からの投稿】

新東京

NO 3976

2006年
1月13日(金)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

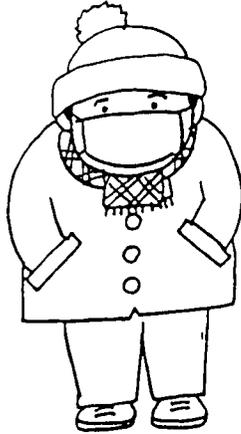
03-5690-2847
内線 4163

暖冬のはずが！

今年の冬は暖冬だろうというのが長期予報だった。ところが、先月中旬から急に寒くなり、北陸や東北では記録的な大雪となった。例年はめったに積らない南九州でも雪が積るなど一転して厳冬になりそうだ。

この寒さは輸送の職場では辛い季節の始まりでもある。

一輸送の到着や差し立てを行なう職場はパレットやコンテナの出し入れのため外気にさらさ



れながらの作業を強いられる。

先日、深夜勤の明け方頃あま

りにも寒いのでホームの温度計をみるとマイナス2度をさしていた。幸い当日は風がなかったからよかつたものの、通常は建物の中と外の温度差で外の冷氣

が吹き込み、フロアーの中を空のパレットがコロコロと転がる始末である。トラックの到着が集中する時間帯などはホームのシャッターは開けっ放しになりフロアー全体の温度が急激に下がる。

寒さ対策として作業服の下にセーターやトレーナーを着込んだりジャンパーを着たりと工夫はしているものの首から上は難しい。寒風にさらされたままである。

輸送の職場の防寒対策は開局以来の課題だがこれまでほとんど対策はとられてこなかった。寒い中での作業は動きがにぶくなり効率も悪くなる。

これから冬本番、この冬も寒さとの我慢くらべになりそうだ

JPU第61回

臨時全国大会に向けて

2月9日から10日にかけて、JPU第61回臨時全国大会が東京・日本青年館大ホールにて開催されます。一度は参院本会議で否決に持ち込んだ郵政民営化法案も、解散総選挙で圧勝した小泉内閣によって再提出され可決されました。

郵政公社は、この間、フェーズ1で17,000人、フェーズ2で10,000人の人員削減を行ってきました。しかし、職場では要員と業務のミスマッチが問題となっており、このままでは正常な業務運行が困難な状況に追い込まれています。

また、春季生活闘争についても提起されています。景気が回復傾向に向かっているといわれる状況下、2002年から2005年まで4年連続で、ベア要求なしの春闘にも変化の兆しがあります。

以下、臨時全国大会議案の『提案にあたって』の部分を掲載します。詳細は全国大会議案をお読み下さい。

『提案にあたって』

- 1、第60回大会（奈良市）において私たちは、国民世論や議会制民主主義を軽視した政府の政治手法を許すことなく、理念なき郵政民営化法案の否決・廃案を目指した運動方針を決定しました。具体的には、「郵政事業に関する労組政策協議会」を基軸に郵便局ファンの会、全国特定郵便局長会、そして連合との連携を強化しつつ、より広範な運動を積み上げてきたところです。
- 2、昨年8月8日には、参院本会議において郵政民営化法案を「否決」に追い込んだものの、その後の解散総選挙で自民党・与党が圧勝し、特別国会に再提出された法案は賛成多数で可決されました。しかし、国民・利用者の立場から郵政民営化の矛盾を訴え、法案の「否決」を現実のものとした私たちの運動は、不条理に立ち向かう結集軸のあり方として歴史的にも評価に値すものです。

- 3, 私たちは、選挙結果を厳粛に受け止め、郵政民営化法案の成立を現実のものとして今後のとりくみをすすめますが、郵政事業は国民生活に欠かせないインフラであり、民営化以降もその使命が尽きることはありません。少子高齢社会が進展する日本の将来を見据え、引き続き公企業としての郵政サービスを提供しつづけることが極めて重要です。
- 4, 郵政民営化は、こうした国民生活の基礎的なサービスを維持した上で、競争力の強化や経営基盤の拡大をはかる必要があります、このことが信頼される郵政事業の持続的な成長をもたらし、私たちの雇用の安定と労働条件の確保に結びつくものと確信します。つまり、①社会システムとしての郵便局機能を保持すること、②事業の持続的成長を追求すること、③働くものの雇用確保と働きがいのある労働の確率をはかることが民営化に向けたとりくみの基本となります。
- 5, 第6回臨時大会は、郵政民営化法案の成立を踏まえ、政労協議や公社との事前協議等の経過を明らかにし、民営化に向けた今後のとりくみ方針を組織全体で確認することと併せ、2006春季生活闘争のとりくみについて意思統一をはかることが主要なテーマです。組合員一人ひとりがこれからの郵政サービスを描き、全組合員が討論に参加し、そして民営化対応と春季生活闘争に向けた意思結集をはかるよう要請します。

以上が臨時全国大会の本部の考えです。

支部は執行委員会で議論のうえ、オルグを開催します。

新春支部ボウリング大会のお知らせ

日・時 1月29日(日) 14:00~16:00

場 所 錦糸町ロッテボウル

会 費 2000円 (ゲーム代、靴代、懇親会)

〆 切 1月20日 支部役員、分会役員まで

日 刊 新 東 京	NO 3978	2006年1月17日(火)
	日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

ゆうメイトの皆さんへ JPUに加入しよう！

*なぜ労働組合（JPU）が必要なのか

近年はパート、フリーター等労働力の流動化、働き方の多様性が大きな流れとなっており、21世紀は多様な生き方、働き方に対応できるシステム作りが求められています。その流れの中で、郵便局の職場では実に12万人を超えるゆうメイトが働いているのです。

ゆうメイトの皆さんも職員と同様、働くことを通じて賃金を得て生活を営むことに何ら変わりはありません。雇用の形は違っても、働く上での要望、不満など様々な思いを抱えています。が、私たちの賃金や働きやすい職場環境は会社（郵政公社、郵便局）に任せておくだけで自然と良くなるということはありません。また、個人で解決しようとしてもそうした要望や不満を局長や経営者に伝えるには物理的に限界があります。

労働組合は労働組合法で「労働者が、労働条件の維持改善その他経済的地位の向上を図ることを主たる目的として、自主的、民主的に運営する団体」と定められ、その設立や運営、活動は保護されています。JPUは働く皆さんの思いや希望を出来る限りまとめて、公社や郵便局に伝え交渉していくことの出来る全国的な団体なのです。

*労働組合（JPU）に入るメリットは？

ゆうメイトの皆さんにとっては処遇改善の要望が反映され、理由のない解雇や安易な雇い方をなくす等改善策に取り組むことが出来ます。また、公正労働基準の徹底、情報の共有化、要求解決による働きがい、共済等のスケールメリット等が得られます。

労働組合は多くの仲間が集まるほど大きな力を発揮できます。ゆうメイトの皆さんがJPUに参加すれば、一人一人の声が大きな声となって郵便局や郵政公社本社に届くのです。 【裏面へ】

*** ゆうメイトに対しての J P U の実績は？****頑張れば報われる賃金体系の実現**

仕事の習熟度等に対してのインセンティブが持てる賃金体系に改善させました。

予定雇用期間の延長

長期雇用者の予定雇用期間をこれまで当初の採用は2ヶ月ですが、その後の再採用は原則として6ヶ月に延長させました。

ユニフォームの充足

お客様と接する部署についてユニフォームを正規職員並みに貸与させることができました。

苦情処理制度の確立

スキル評価が処遇に反映された場合の苦情処理について2004年10月からスタートさせました。

訓練・研修体系の整備・充実

習熟度に応じた訓練や一定のスキルを持った方に対するランクアップ支援研修などの整備・充実をはかりました。

一人では解決できないことも多くのゆうメイトの皆さんが J P U に加入することで解決できることはたくさんあります。共に、働きやすい明るい職場をつくりましょう。

* ちなみに新東京郵便局では100名を超えるゆうメイトが、そして全国では10,000名を超えるゆうメイトが J P U に加入しています。

新春支部レクボーリング大会

とき 1月29日(日)
ばしょ 錦糸町・ロッテボウル
じかん 午後2時～4時

* 終了後表彰式・懇親会あり

申込〆切1月20日

詳しくは分会役員・執行委員まで

日 刊

新東京

NO. 3983

2006年
1月24日(火)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

♪どうこのだらだか
しーらないけれど♪

【月光仮面のオジサンでは…ない】

ミチナカバ?

昨年4月、個人情報保護法というのが施行されてから、突如、局内外の人事異動が掲示板に掲示されなくなつて久しい。

他局から異動してくる友や仲間、そして管理者諸君の名前がわからないし、異動

があつたことすらわからない。局内配転もしかり。

局内や職場で他課の人達と会つても、どの誰さんだかわからないことが、多くなつた。

じつは、先日もこんなことがあつた…。後ろ手をし、肩で風を切つて歩くようにして

ある「お方」が黙つて職場に入つてきた。もちろん、入つてきた人は誰なのか?そこにいる職員はだれも知らない。大切な郵便物を取り扱っているのです、すかさず:「もしもし、どちらさんですか?」と聞くと、「××だ!」と。なんと、責任ある局大幹部である、とのこと。なんであいさつも無しに黙っているのだらう。責任ある立場の「お方」は「失礼しまゝす」でもいいから、他の職場に入るときぐらいは声をかけてほしいものである。

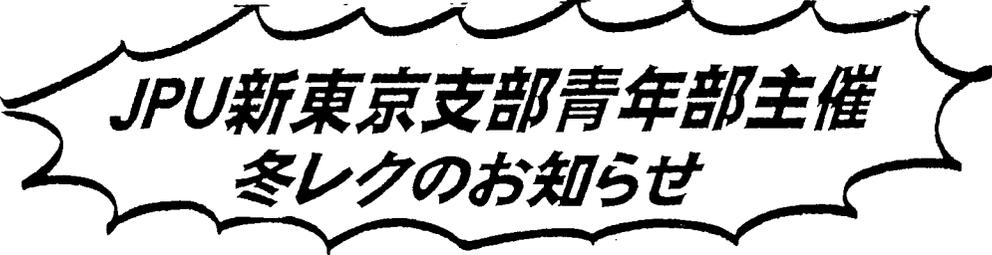
こんなことを考えていると、公社発行の「郵政」一月号で「民営郵政」の役職に付く予定の高橋副総裁がこんなことを言っている。「公

社発足以来言われている『意識と文化の改革』をしつかりさせる。例えば挨拶や服装、歩き方をきちんとする。五分前に出勤し、始業時間になつたら仕事を着手できるように行動を変えれば意識も変わってきます。』と

：。

民営化前に様々なことを実践・定着させたいと高橋副総裁は考えているようだ。よくよく職場で見聞きすることと、「民営郵政」幹部予定者の理念とが、かみ合っているとはなかなか思えない。

はたして、どうなることやら…。



**JPU新東京支部青年部主催
冬レクのお知らせ**

日にち;2006年2月18日(土)~20日(日)
【車中一泊・ホテル一泊】

場所;木島平スキー場&野尻湖

宿泊先;ホテル・レイジヤント(木島平スキー場目の前)

参加費;2万円

日 刊	新東京	NO39876	2006年 1月31日(火)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

支部ボーリング大会盛大に開く 団体戦は一特分会が優勝

06年1月29日に新東京支部新春ボーリング大会が錦糸町のロッテ会館で行われました。

組合員、組合員の家族(お子さんも15名位かな)、ゆうメイト、全体で98名の参加がありました。

深夜勤明けの方、深夜勤出勤前の方、休みの方お疲れ様でした。

日頃の練習の成果は?とはいかず皆さんほとんどの方がぶっつけ本番のようでした。

大会は14:00から練習ボールを投げはじめ14:15から大会がはじまり内容は笑いあり悔しさありの楽しい2ゲームだったのではないのでしょうか。

ゲームも終わり、17時より錦糸町駅近くの「祭りばやし」で、パーティ、表彰式がはじまり、支部長あいさつ、新島つねお江東区ボーリング連盟会長の乾杯の掛け声で酒盛りが、始まりました。

宴会も最高潮になりボーリングの集計も出来、いざ「成績発表」となり、まず団体戦の3・2・1位、個人戦成績の飛賞95・90・85・15・10位、5位・4位・3位・優勝と発表されました。

2位がないのは、優勝者が2名(同点)おりました。

ちなみにハイスコアも2名おりました。

成績は裏面へいきます。